

札幌市では「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」をまちづくりの目標に掲げ、さまざまな取り組みを進めています。このたび、その実現に向けた平成17年度の白石区の取り組み事項を「白石区実施プラン」としてまとめましたので、主なものをご紹介します。

いの施策

◆まちづくり善俗堂の実施◆

区民と区の職員が共に学ぶまちづくりリーダー養成講座(まちづくり善俗堂)を実施し、地域のまちづくり活動を支援します。



◆各まちづくりセンターの情報交流機能の向上◆

地域のまちづくりに役立ててもらうため、まちづくりに関する書籍やビデオ、実践事例集などを集めた「まちづくり情報コーナー」を充実させます。

また、情報交流スペースの整備も引き続き進めるとともに、モデル事業として、パソコン研修を実施するなど、地域内での情報の共有化を支援します。



◆白石区ふるさと会*の活動支援と事業連携◆

「ふるさとまつり」、「白石でっち奉公」など、白石区のまちづくり活動を展開する「白石区ふるさと会」の支援を継続して行うとともに各種事業の連携を深めていきます。

市民自治の推進

◆区民の視点に立った広報の見直し◆

- ① 区民ニーズを把握するため、広報さっぽろ白石区民のページにモニター制度を設けます。
- ② 白石区の地域情報誌「スピカ」の発行を継続し、地域のまちづくり活動を紹介していきます。
- ③ 白石消防署、白石警察署などと連携し、区民が必要とするさまざまな情報が簡単に入手できるように白石区ホームページをリニューアルします。

◆協働による維持活動推進◆

区民が手軽に空ペットボトルを利用した滑り止め材の散布ができるよう、地域団体との協働による凍結路面对策を推進します。

◆地域環境活動の支援◆

地域で道路や公園、川などの清掃活動を実施する際に、ごみ袋、軍手等の清掃用品を提供し、環境活動を支援します。



(再掲)

白石区ふるさと会*の活動支援と事業連携
 まちづくり善俗堂の実施
 地域防災マップの作成
 「まちづくり活動助成金」の整備
 地域の多様な資源を活用した「まちづくり」の推進

本実施プランは、「札幌新まちづくり計画」、「札幌市市民自治推進プラン」、「札幌市市役所改革プラン」からなる「さっぽろ元気プラン」に沿って策定されております。